

# 羽尾 まきでら 長谷寺 まきでらだより



阿弥陀堂前 シャクナゲ

第31回 ～令和5年(2023)夏の号～

暑中お見舞い申し上げます。

コロナ禍もインフルエンザと同じ5類と移行しましたが、依然油断ができない状況には変わりません。そんな中でもまきでらではホトトギスやセミの声、蓮や睡蓮の花など、いつもと変わらない山の風景に、ほっと心癒される思いです。

では、今年後半の行事予定とまきでら近況をお知らせいたします。

## ～仏師 吉田さんより 仁王像の近況～

羽尾も段々と夏らしくなってきました。

仁王像の修理も3年目に入り、感染症の状況を見ながら、調査報告会や見学会などの催事を試みております。

4月の花まつりには、工房見学に合わせ、お子様向けの企画「1000ねんごのきみへ」を開催。檀家さんのお子様・お孫様、夜須小の新一年生にお越しいただき、願いや夢、未来へのメッセージを墨書きしてもらいました。この墨書は、修理完了時に像内に納めます。

その様子は、複数のメディアに取り上げられたので、テレビや新聞をご覧になった方も多いのではないかと思います。今回は、高知県内だけでなく、秋田や千葉、愛媛の新聞、複数の宗教専門誌で取り上げられたほか、インターネットを通じて全国的に知られる取り組みとなりました。



子どもたちの記憶や、メディアの記録に残ることが、よき未来へのガイドになってくれることを願っております。

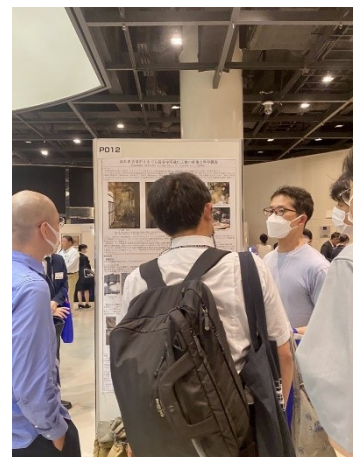
また、6月には、本修理プロジェクトの科学調査(2022年11月実施)について、高知大の松島先生が「文化財保存修復学会 第45回大会」で発表されました。

松島先生は、科学調査の結果だけでなく、仁王像の修理が始まるまでの皆様のご苦

労にも触れ、「各マスメディア・SNSへの情報発信で市民への文化財保存・活用の周知にも貢献している」と締め括られていました。

展示ブースには、国内外の文化財に関わるさまざまな職種の方々が訪れ、私たちも質問を受けました。専門家からの、本プロジェクトへの関心の高さも感じたことでした。

檀信徒の皆様には、日頃はもとより、催事においても多大なるお力添えをいただき、誠にありがとうございました。完成までまだ時間もありますので、檀家様はもちろん、地元の方や、全国の専門家や愛好家にも広くこの取り組みを発信してい



たいと考えています。

修理作業は、阿形の組み立てに入ったところです。

追ってまたご報告いたします。今後とも、ご理解・ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。（よしだ造佛所）

## 今年後半の行事予定

感染症対策他の為、急な変更の可能性もあります。  
その場合の詳細はお電話他にて。

### 8月6日(日) 盆前掃除

暑くなる前の早朝から始めたいと思います。今年は本堂前の庭木の剪定を中心に行いたいと思います。暑くなる前には作業終了とし、お茶としたいと思います。小雨決行。大雨の時は堂内の清掃及び施餓鬼会準備の予定です。

### 8月10日(木) 山門施餓鬼会 (てらのおぼん)

9時 総代会 回向袋集計他  
10時 檀家会 前半期の報告 今後の方針等話し合います。  
11時 おせがき (三界万霊 檀信徒先祖 新亡の供養)  
12時 お斎 (書院にてお弁当他を用意いたします)

### 9月2日(土、旧暦7月18日) 中津尾 堂平観音堂例祭

11時より法要。下記薬師堂例祭と共に、初めて参拝される方は長谷寺まで御連絡下さい。

### 9月23日(土、秋分の日) 秋季彼岸会法要

檀信徒ご先祖様と長谷寺永代供養の方々への供養を執り行います。  
午後1時より客殿本堂にて読経、法話の後、永代供養堂(阿弥陀堂)へお参り終了後、そらこや展望所にて茶礼とさせていただきます。

### 9月26日(火、旧暦8月12日) 中津尾 薬師堂例祭

11時より法要

### 12月24日(日) 年末大掃除

小雨決行。大雨の時は堂内の清掃及び正月準備の予定です。

### 12月28日(木) 餅つき

8時頃から搗き始めます。杵と臼で搗く予定です。ご自分の家用を搗くこともできます。その際、前日から水に浸けたもち米とお持ち帰り用ケースをご用意ください。

今年も吸江寺和尚、竹井4姉妹が参加予定です。子供さんやお孫さんも一緒に「年末恒例行事 餅つき」にふるって御参加ください。

### 令和5年大晦日～令和6年元旦

除夜の鐘 31日午後11時45分～

新年祈禱会 1日午前1時～午前9時 観音堂にて祈禱会。

その後、新年初詣、書院にておせちを用意しております。皆様でご参拝ください。

### 令和6年1月18日(木) 初かんのん



令和5年7月吉日

まきでら 長谷寺 竹井 玄要  
総代 一同

## まきでら近況 令和5年前半の主な出来事

### 1月3日（火）たくあん 仕込み

吸江寺和尚が子供たちと一緒に漬けました。  
座禅会や行事でも好評な「まきでら沢庵」 今年も檀家さんより供養して頂いた大根も含め、昔ながらのやり方で漬けました。樽の上で大根を踏みながら漬ける和尚を見て、興味津々な子供達でした。



### 1月18日（水）初かんのん

この日に参拝すると大きな功德があると言われる、今年最初の観音様の縁日。



吸江寺和尚を拝請し本堂読経後、観音堂にて祈祷太鼓を叩いて頂き、今年一年の良縁を観音様に祈祷させて頂きました。昨年修復が終わった地蔵菩薩立像の開眼法要も併せて行いました

10時からは総代会  
引き続き檀家会が開かれました。仁王像の年代測定結果報告もあり、メディアの方の参加もありました。



### 2月2日（木）中津尾薬師堂の初薬師（旧1月12日）



当日11名参加。寒い中美味しいぜんざいの供養があり、ほっこり温まりました。



### 2月6日（月）～本堂前畑側、浄化槽横 石垣積み直し



畑側の石垣と浄化槽横は以前から傷んでいて、どちらも今回檀家さんに丁寧に1個ずつ積み直しをして頂きました。自給庵からの眺めもきれいになりました。



## 2月8日(水) 中津尾堂平初観音(旧1月18日)



当日13名参加。こちらにもぎやかに執り行いました。終了後、先日法要した中津尾薬師堂の屋根補修を檀家さんにして頂きました。



## 3月2日(木) ~鐘楼横 石垣積み直し

木の根が大きくなって、石垣が崩れそうになっていました。檀家さんに木を除きまっすぐに積み直して頂きました。



## 3月21日(火、春分の日) まきでら春彼岸法要



午後1時より、あいにくの雨でしたが11名参加にて執り行いました。今回、長女が初めて私の横で魚鱗をたたいてくれました。まきでら長谷寺檀信徒御先祖様ならびに永代供養者の方々へ、本堂での読経後、阿弥陀堂での読経を行いました。

## 3月29日(水) 香南市婦人会の皆さん市バスで来山

6名の方が市バスとバス停からは私の車に乗り換え、にぎやかに来山して頂きました。



## 4月2日(日) 春の大掃除 寺奉仕



25名参加。花まつり前の大掃除ということで、庫裡本堂前から観音堂横の細かいところをまで清掃を行いました。また花御堂も今年は早めに出しました。参加された皆様、お疲れさまでした。

## 4月7日(金) 花まつり準備、8日(土) 法要、9日(日) 幕片付け



あいにくの雨でしたが、今年も羽尾の檀家さんを中心に花御堂の飾りをして頂きました。生花も芸西の檀家さんに毎年御供養をして頂いています、本当にありがとうございました。





法要に先立って、檀家会がおこなれました、法要は土曜日でこの後の子供向けイベントもあって、多くの参拝者の方が来山されました。



雨の為、濡れた幕を檀家さんが翌日乾かし片付けをしてくれています。

## 4月8日（土）1000ねんごのきみへ（花まつりイベント）

詳細は1ページにてご覧ください。

仁王像と共に思いを未来に繋ぐことができたと感じます。

子供さんのしっかりとした考えには驚かされます。大切に仁王像に納めさせていただきます。

吉田仏師をはじめ、関係された皆様のご協力に感謝します。

## 4月27日、5月9日他 まきでら写真館



街の喧騒から離れたまきでらでは、写真撮影をされる方も良く来られます。人、風景、鳥など、思い思いシャッターを押す人々。私はそんな人々を撮るのが大好きです。



## 5月20日（土）山アジサイ鹿よけ 石垣積み直し



花まつりでは、令和3年より「羽尾産の甘茶」を檀家さんに供養して頂いていました。来年は寺の甘茶だと思っていた矢先、鹿に食べられてしまいました。相手も生きるために必死。檀家さんにワイヤーを張って頂きました。横の石垣も積み直して頂きました。



## 5月26日（金）仁王門に続く車道 コンクリート敷設

前回の檀家会でお伝えしましたように、仁王門裏までの車道のコンクリートを左官松本組様に打設してもらいました。次は仁王門にて三和土の工程になります。



## 6月5日（月）滋賀県 楠本仏師の工房見学



修復をお願いしている「千手観音菩薩像」の途中状況見学の為、吸江寺和尚と一緒に尋ねました。仏像内部をカメラで調査し胎内仏や木札などを確認することができました。以前の修復での塗装を落とし、クリーニングされた御顔は以前とは異なり、やさしい表情に感じました。



2月5日(日) ブルーベリー剪定 6月20日(火) ヤマモモ 収穫 ほか



令和3年の11月に枝を剪定してもらい、その後の管理を主に檀家さんが行ってくれています。いつもありがとうございます。あと今年は寺のヤマモモが沢山実をつけました。収穫の為ネットを張って頂きました。



### まきでら風景より～あとがき～

6月30日私は48歳になりました。その日は羽尾で妻と子供たちに御祝をしてもらい、その後布団に入って寝ようとした時、ふと今までの6月30日のことが走馬灯の如く思い出されました。特に30歳から羽尾に移住する37歳までの間は、個人的には生活が落ち着かず、あっちにうろうろ、こっちにウロウロ、まるで「うろうろ」の星で生まれたかの如く、そんなときの誕生日は、はっきりと記憶することも無く、ただ若さだけで進んで行くことができた年代でもありました。

さてこの「うろうろ」、「有漏」を語源としている言葉であります。「有漏」と言えば、臨済宗の僧侶 一休禪師(一休さん)の名前のきっかけになった「有漏路より無漏路へ帰る一休み 雨降らば降れ風吹かば吹け」が浮かびます。『有漏路』は煩悩執着にまみれた迷いの路。『無漏路』は清浄な世界悟りの境地とあります。『雨降らば…』は雨風が吹いてもそれもまた一瞬の出来事、大したことはないとあります。

さてこの48歳、「無漏路」に近づけるようにと思っはいるものの、すべての「うろうろ」が「むろむろ」に替わるには時間がかかりそうです。(玄要)



(まきでらにて三女、七五三法要)

令和 五年癸卯(みずのとう)	西曆 二〇二三年	仏曆 二五六六年	臨済宗妙心寺派	眞牧山まきでら長谷寺	創建 神亀四年(七二七)	本堂再建 貞享二年(一六八五)	客殿再建 天明元年(一七八二)	電話 〇八八七五五一一九三七	住職 竹井玄要	寺庭 竹井歌織	責任役員 中内明仁	監査 恒石幸晴	相談役 恒石正純
					一二九六年前	三三八年前	二四二年前	高知県香南市夜須町羽尾七八三		大野勝清	國澤義明	恒石 巖	梅木昭和
								大北利光(会計)					